

保育所版 自己評価シート 【共通評価基準】

【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください（「a・b・c」）。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「□欄」のドロップダウンから選択してください（「□・□」）。

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	コロナ制限前に開催された入園説明会、進級説明会ではそれぞれのしおりを作成し、保護者に説明を行っている。特に保育方針・目標については、園のホームページでも説明し、保護者にも集まった機会には周知する様努めている。理念については、園運営を受託して満11年経過してきたので、吉身保育園の積み上げてきた実績をベースに分かり易い理念の再作成を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
	理念・保育方針・目標について、職員及び保護者へ更に周知徹底を期待したい。園だよりやクラスだより等、毎月決まった所に掲載するなど工夫を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	地域特性、保護者の経済事情の変化、国の政策変化への対応など把握をしたうえで、運営委託の仕様書の枠内で、予算案、計画案を市側に提出して承認を得ることが大前提にある。この条件下で良く対応して、子ども達の養護・教育を実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	運営法人本部こども未来事業部に相談し、その支援を得て対応力を高めてきている。ただ福祉人材の確保には、当分野の各施設と同じ厳しい状況下にあることは事実である。採用計画の下採用業者や市にも相談している。吉身保育園の特徴を生かした努力を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		<input type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	運営委託事業を受託している立場にあり、意見・提言・要望は出来ても市側の中・長期ビジョン及び保育事業施設運営方針に従う立場にある。本項目は評価不能としたい。		<input type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		<input type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	単年度計画は、前年度の評価見直しの下、改善策も加えて新年度計画及び予算案を職員の協力の下作成し、市側に提出し、許可を得てスタートすることとなっている。本項目も評価不能としたい。		<input type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	事業計画の経理面では、担当事務職員がおり、月毎、上半期で見直し、その後の月毎の見直しを経て年度末決算に至る。保育事業では、日案、週案、月案、上半期、年度末での見直し等自己評価を得て、次年度案作成に入る。見直し自己評価についての共通理解のレベルを上げていって欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。

保育所版 自己評価シート 【共通評価基準】

入園説明会、進級説明会の二つの重要な会で資料を基に、事業計画を説明し、欠席者には後刻個別説明会をもって周知徹底に努めている。保護者向けの周知・説明には園だより、クラスだより等簡潔な活用を期待したい。	<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
	<input type="checkbox"/>	エ	事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	日案、週案、月案の作成は、PDCAを回す作業であり、乳児部会、幼児部会、支援部会(月1回開催)で対応策を検討し、必要な場合は職員会議で報告し、全職員の共通認識となる。毎年第三者評価調査を受審し保育の質向上に努力している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづく保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	「子どもをしっかり見ていこう」とヒヤリハット対応活動、降園時の担当から保護者へのメッセージ引継ぎ、安全点検簿の活用、保護者アンケートに基づき満足度の引き上げ方策など、各年度ごとに各課題に取り組み、成果を挙げてきている。コロナ対策の結果、年度計画とのブレの修正、点検、見直しを予定しているが、目下は時間が取れていない。今後も同様の活動継続による改善を期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	園長の役割と責任は職務分掌表と事務分掌に明記している。園要覧に年度の保育の方針や計画をまとめ職員に周知している。園だより等に園長の役割・業務を記載して欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	守山市園長会、運営母体の園長会等と連携しあい、施設長研修会や勉強会に参加し情報の入手や勉強を重ねている。人権のみならず福祉関係の法令改定等本部の支援も得て、職員に周知・遵守に取り組んでほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

保育所版 自己評価シート 【共通評価基準】

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	年度始めに保育全体計画を示し、それを受けて乳児部会・幼児部会・支援部会で保育の年間計画を職員と共に作成している。部会では職員資質向上をめざす研修項目を取り上げ、研修計画に落とし込んでいる。コロナ感染防止のため、園の行事の見直しや三密を避ける等の対策に積極的指導を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<input type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	経営の改善は市と洛和福祉会の取り決めで進めている。コロナ禍で活動が制約される中で、職員に働きやすい職場作り、保育の質を高めるように更なる努力を払ってほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	ホームページに掲載し就職説明会に出向いたり、洛和福祉会本部も参加し保育人材の募集確保に努めている。園の良さを実習生や保護者の実感で伝わっているが、人材確保に繋がらず、困難な状況改善に全力投球を期待したい。		<input type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	保育計画に職員の目指すべき信条を定めている。個人面談を通して職員の技量や将来の意向を確認している。洛和福祉会として保育部門の人事管理規程(人事基準)の整備および個人毎の職歴・資格・研修受講経歴をまとめた人事手帳やキャリアパスを明確にした人事基準の作成が望まれる。		<input type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	日々の就労状況は「就業WEBシステム」で有休休暇の取得状況・時間外労働等を把握している。その結果、ワークライフ・バランス休暇により余暇の充実に努めているが、人材不足もあって日常の休暇取得については、すべて希望通りという状況には至っていない。自己申告書に基づき、園長との個人面談を通じて職員の希望や要望等を把握し、働きやすい職場づくりに努めている。計画的な有休休暇の取得に配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

保育所版 自己評価シート
【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	保育全体計画に職員信条を定めている。「自己申告書」にて現在の職務、自己評価、来期への期待、今後身に付けたい技能等を園長と個人面談で確認している。個人面談は年2回実施し職員の達成度合いを認識しあっている。キャリアアップを目指すための指針の提言を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	全体的な計画に職員の信条と研修計画を、また保育の計画に基本方針を示している。年度初めに職員を交えて、職員の資質向上をめざす研修テーマを掲げ、研修計画を策定し、教育・研修を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	期初に乳児・幼児・特別支援部の3部会で職員が受講したい園内外の研修のテーマを園長に伝えている。個人の希望を入れつつ年間研修計画を策定している。受講後、報告書を作成し記録に留めて職員会議や保育内容検討会で発表している。園長は研修に参加出来る様に努めている。研修を受けた中で保育の質の向上に繋がると思われる内容を共有し実践に努めて欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	実習生受入れマニュアルは作成している。2大学より実習生を受入れている。実習プログラムは依頼先である大学側が作成し、園長が内容を確認し認可している。実習生の受入れ記録がある。マニュアルに研修指導者の役割の明記が望まれる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	ホームページ・入園のしおり等で理念や方針を示している。毎年、第三者評価を受審し、滋賀県のホームページに公開している。入園のしおりを市役所にも置いている。地域の自治会に園便りを配布し、行事や各種支援事業の内容開催日時を伝えている。園の信頼性向上のためにも苦情処理等の公開を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	保育園は洛和福祉会と守山市と交わした「守山市立吉身保育園・分園管理運営業務仕様書」の契約に基づき保育業務を遂行している。園長の下に園会計全般を扱う専属の職員がいる。経理規定に基づき、年度毎の決算報告書を作成し、洛和福祉会で会計監査を受けている。福祉法人として損益計算書や貸借対照表等の情報の公開を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

保育所版 自己評価シート
【共通評価基準】

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
今年度に入ってから、コロナ禍の為に子ども達を楽しみにしていた地域高齢者ハッピーさんとの交流が中止となっている。お話しは、例年より減っているが3~5歳児に絵本や紙芝居の読み聞かせは継続している。ハッピーさんとの関係継続発展のため、子ども達の提案を活かした活動を進めて欲しい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
マニュアルを整備し、洛和福祉会本部で不測の事故に対応できる保険に加入している。中学生職場体験、高校生ボランティア活動が、コロナ禍で中止となっている。看護学生、保育実習は感染防止対策を厳守し受け入れている。潜在保育士を受け入れ、保育士として就業してもらっている。今後も努力を続けてほしい。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
関係機関、団体等の社会資源リストは、必要時職員が閲覧利用できるように職員室に設置している。気に掛けて行く子については、各部会で様子を伝え合い共有し、就学先の小学校や子ども家庭相談所とも定期的に連携を取り進めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
園でも早期発見に繋げる為、保護者とコミュニケーションを取りながら、子どもの少しの変化にも気付けるように記録をとっている。今後も色々なケースが予測される。更なる関係機関との連携を期待したい。			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
地域の子どもの遊び場として、0~2歳児のさくらんぼサロンを週2回、2歳児対象のさくらんぼ教室を月1回行い、地域保護者の子育ての悩みや相談、遊びの提供を行っている。小規模保育園の園庭開放を年間計画に上げ対応している。吉身学区のお祭りや運動会に5歳児が組体操やダンスに参加していたが今年は中止となった。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
民生児童委員と学期ごとに話し合いを持ち、相談する機会を持っている。さくらんぼサロンやさくらんぼ教室参加者(12~32名)にアンケートを取りニーズを吸い上げるようにしている。これら未就園児の保護者にとっては、保育士との会話や助言、保護者同士のたわいもない会話で安心できるとのコメントがある。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

保育所版 自己評価シート 【共通評価基準】

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	人権ガイドラインを園独自で作成、職員全員で読み合わせ、改善点はないか、実施できているか等、振り返りを定期的に行っていたが、年度初めコロナ禍で実施できず各自で読み返し、気が付いた事や意見を書面で提出している。パートや非常勤も今回初参加、再度読み返す事で気が付く事が多く初心に帰れたとの確認を取っている。人権だよりを年3回発行、保護者にも啓発している。職員内部研修を実施、外部研修参加後は職員会議で報告し共有している。幼児はたて割り保育を実施、年長児の動作やしぐさを憧れの思いで見つめ、来年は自分たちもあのようにと期待を大きく膨らませている。年長児も下の子が出来ない所を「こうしたら良いんや」と優しく教える姿が見られる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	人権ガイドラインを基に、子どもを一人の人として接する事をいつも心に留めながら関わるようにしている。不適切な対応と感じた時は職員間で話し合い、クラスでも話し合い結果を園長に報告している。流れは出来ているが、ガイドライン内に対処法として記載する事を期待したい。トイレの仕切りや着替え時、周りから見えない配慮など工夫している。人権だよりを発行し、個人的に撮影した子ども達の写真をSNSにアップしない等声掛けしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	見学希望者の日程、時間を調整、園児の状況も確認し希望に添っている。運営方針や特性を丁寧に分かり易く説明している。又希望者には園見学を行い施設内の環境や子どもの姿を実際に見て貰う事もある。6月～10月の間に57家族の見学があり、主任が対応し当園の特色を中心に説明し相談に応じている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別にていねいな説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	入園のしおりを基にスライドで、園長や担任より説明し疑問に答えている。変更は手紙、メール配信、電話、掲示にて漏れのないように知らせている。耳の不自由な保護者や配慮が必要な保護者への対応は、実態はうまく説明が行き届いているが、マニュアル化して置くことを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすい工夫や配慮を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	気に掛けている子の転園時、主任が転園先に出向き情報を伝える等、個別対応に徹している。		<input type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	利用者満足度調査(保護者にアンケートを実施など)をし、それを基に改善点を話し合っている。コロナ禍で懇談会や保育参		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)

保育所版 自己評価シート 【共通評価基準】

	加などの中止があり、保護者より保育士との会話が減り様子を聞く機会が減ったと不安の声が多数あった。職員会議で、保護者と一言でも話そう、声を掛けて行こうとコミュニケーションの機会を持つ努力をしている。特に幼児は毎日記載する連絡帳がなく、保護者の不安が大きい。コロナ禍の状況下ではあるが、保育士からの積極的な声掛け、コミュニケーションを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員等が、利用者満足把握を目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4)	利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情解決に係る規定の中に苦情解決の体制を整備している。苦情解決責任者園長、受付担当者主任、第三者委員社会保険労務士と明記した文書を入園のしおりや、玄関の掲示板上に掲げているが保護者の目につくような配慮を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
	苦情の申し出時は受け付けた職員が内容を記録し主任に報告、家族への対応を記録して職員会議にて報告し情報を共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
	今年度はホームページや広報誌にて公表する苦情等は見られず日々の声掛けや会話を通じて、苦情となる前に保護者との信頼関係を築くよう努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	相談室はあるが、相談窓口を明確にして分かりやすい場所に掲示する取り組みを望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	保護者情報管理要領を整備し、アンケートの実施、懇談会、メール、連絡帳、振興会等を通じて意見、要望を把握する取り組みを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすい意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
	日々の会話の中で気軽に相談しやすい関係づくり雰囲気づくりに努めてほしい。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
	保護者からの提案で、行事の中で時間の割り振り、仕方についての検討を行い実施した事例がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5)	安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口にチェック)	
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	<input type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	「事故発生防止の為の指針」を作成して職員への周知を図っているが、リスクマネージャーの選任が求められている。ヒヤリハット報告書を毎月保育内容検討会に各クラスから提出し事例検証を行い職員全員で共通理解をして事故防止に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
	入園後間もない4月、5月が共に8件と多く発生している。大事故につながることを無いよう全職員の共有に努め、本活動が継続する様期待したい。安全点検計画に基づいて施設、遊具の点検を月2回行い、砂場の掘り起こしは週1回行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	看護師が常駐し感染症対応マニュアルを作成している。新入職員には嘔吐時の対応の仕方等を指導して全職員が感染症対策や予防について周知できるように取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
	感染症の発生時期には状況等を園の掲示板や保健だより、メール等で保護者に知らせている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
	現在コロナ禍において三密を防ぐため各行事を中止もしくは縮小して室内の換気を行い、健康観察票にて毎朝子どもの健康状態を把握している。職員、幼児クラスの子どもたちは手指消毒、マスク着用を習慣化して感染拡大防止に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	災害対策担当職員が、災害緊急体制を編成し災害時フローチャートにて即対応できるように備え、非常災害(地震)対応マニュアルを作成している。毎月1回避難訓練を行い実施の様子を毎回掲示板で保護者に知らせている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決まられ、すべての職員に周知されている。
	災害時の備蓄取り組みの着手を期待したい。		<input type="checkbox"/>	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

保育所版 自己評価シート
【共通評価基準】

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	乳児の「授乳や食事の手順書」を作成し保育サービスの標準化を図っているが、他の発達状況に応じた保育手順書としては文書化していない。保育士の一定の水準、内容を常に実現することに取り組むことを望みたい。全体的な計画に基づいて年間、月間、週間指導計画、日課表を作成して保育の実践を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input type="checkbox"/>	オ 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。
	保育手順書を作成して、全体的な計画や指導計画の見直し時や保育所保育指針改定時に準じて見直すよう取り組むことを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	全体的な計画に基づき、乳児は個別指導計画、幼児はクラス指導計画を作成し、年間指導計画、月間指導計画、週間指導計画を策定している。指導計画はクラスの保育士で作成して乳児のリーダー、幼児のリーダーが確認した後主任、園長が確認して押印している。配慮を要する子どもには、保護者や関係機関(発育支援センター、訪問あゆっこ教室等)と連携して個別支援計画を策定している。毎月一回乳児部会、幼児部会、特別支援部会等において各行事や保育についての話し合い、振り返りを行い次の計画に生かしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ささまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	指導計画に毎日、週間の記録を行い月末の評価反省をもとに次月の指導計画を立てている。各部会においても保育計画の振り返りを行い次の計画に生かしているが、保護者のニーズも計画に反映できるよう望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子ども発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	指導計画に沿った毎日、週間の保育の実施状況などをエピソードを交えて記録している。個々には児童票に子どもの保育実施状況を全て記録している。職員会議、保育内容検討会等において情報を共有して保育に努めている。コロナ禍においてはパソコン使用により職員間で情報を共有化する取り組みを期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	「個人情報保護規定」の守秘義務を職員は遵守している。電子データは紙ベースにして5年間保存、記録の廃棄はシュレッダー処理をしている。USBメモリーは園長が管理して、個人情報記載されている書類は施錠できるロッカーに保管している。子どもの写真を掲示する場合は事前に保護者の同意と許可を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

保育所版 自己評価シート

【内容評価基準】

【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	☑	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。
判断した理由・特記事項等 伝統的な保育方法を柱に保育園の理念及び保育目標に基づき、職員による定期的な見直しと評価を積み重ねて、全体的な計画を編成している。担当職員同士で子どもの家庭環境や姿、地域の実態なども考慮している。			☑	イ 全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
			☑	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			☑	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			☑	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	☑	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
判断した理由・特記事項等 室内は清掃が行き届き手指消毒用アルコール、加湿空気清浄機を設置して手洗い場にはハンドソープ、ペーパータオルも備えて清潔である。絵本コーナー、キッチンコーナーにはカーペットを敷き、くつろぎ落ち着ける工夫をしている。水槽ではメダカを飼育、壁には季節の作品を飾り、食事時はテーブルクロスを用いて心地よく過ごせる環境としている。園庭は遊具も揃い子どもたちが思い思いに集まり元気に遊んでいる姿が見られる。			☑	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
			☑	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			☑	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			☑	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			☑	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	☑	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
判断した理由・特記事項等 乳児は育児担当保育を取り入れ一人ひとりの子どもの要求を受け止め、子どもの気持ちに寄り添う保育を行っている。保育内容検討会に各クラスの保育士が参加して、気にかける子どもの課題を話し合い全職員の共通理解の場としている。下着が汚染して一人であつむいている子どもに、保育士がさり気なく声かけし、他の子どもが気付かないように別の場所で着替えを手伝い教室に戻って来ると、明るい表情で他の子どもと一緒に遊んでいる姿が見られ、保育士は一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添う保育を実践している。			☑	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
			☑	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			☑	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			☑	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			☑	カ せかせ言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	☑	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
判断した理由・特記事項等 一人ひとりの発達状況や状態に応じて、子どもが自分でやろうとする気持ちを大切に声掛け、援助をしている。食事時、椅子に座ると足が床に届かない子の足元に、小さいボードを敷いて安定した姿勢を確保している。子ども一人ひとりの体調・成長・家庭環境も考慮しながら、活動と休息のバランスを考慮している。			☑	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
			☑	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			☑	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	☑	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
判断した理由・特記事項等 今年は少しでも分散できる工夫をしながら、異年齢で子ども同士の関わりの中、兄弟関係のような関わりが出来る配慮をしている。限られた時間、環境の中で遊戯室で体操や身体を使った集団遊びが出来る時間を意識的に作り、楽しめる工夫をしている。園庭で安全にのびのび遊べる時間を確保する為、乳児幼児で相談し、使用時間を分ける等の工夫をしている。自然に触れたり、友達とルールのある遊びをしたり体を動かして楽しめる機会を持っている。日中活動を月齢や発達、活動に合わせて過ごす日を設け、			☑	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
			☑	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			☑	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			☑	オ 生活と遊びを通して、友だちなど人間関係が育まれるよう援助している。
			☑	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。

保育所版 自己評価シート
【内容評価基準】

	<p>プレイルームを使用し一人ひとりが存分に遊ぶ工夫をしている。 毎年地域の高齢者、ハッピーさんが来園し、芋を植え、掘って調理したり、伝承遊びを楽しんだりしていたが、コロナ禍で4月以降は中止となっている。ハッピーさんとの関係継続の方法を子どもたちのアイデアも取り入れて、組み立てていって欲しい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
6	<p>⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。 <input checked="" type="checkbox"/> オ 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> カ 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
	<p>判断した理由・特記事項等</p> <p>育児担当保育を行う上で、自分の思いを言葉で表せない乳児一人ひとりの思いを汲み取る為、家庭環境、日常の状態、表情、視線などで把握するように努めている。保護者との連携を大切にしながら、ゆったりと園で過ごす様になっている。頭の上に布を掛けて貰い、するりと落ちた布の下から「パー」と保育士の顔を見つめ「キャ キャ」と全身で笑う表情は愛着関係が何われる。保育士は育児担当制の意義を良く理解して保育に当たっており、保護者の信頼も厚い。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> イ <input checked="" type="checkbox"/> ウ <input checked="" type="checkbox"/> エ <input checked="" type="checkbox"/> オ <input checked="" type="checkbox"/> カ
7	<p>⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> オ 保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> カ 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> キ 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
	<p>判断した理由・特記事項等</p> <p>子どもが自分でしようとする気持ちを大事にし、傍で見守り、出来ない所をさりげなく介助、「上手にできたね」と達成感を味わえる配慮をしている。コーナーを設け、様々な玩具や絵本を揃え、自分で取らせ、好きな遊びが出来る時間を設けている。友達と話しながら積み木をする子の傍で保育士が見守り、横のコーナーでは一人でやりたい遊びに没頭している子の姿がある。月齢差で落ちて遊びこめる環境作りが難しいと乳児部会で相談、日中の活動を月齢で分けて過ごす日を設け、子どもがイライラせず落ち着いて遊びこめる環境の整備をしている。成長に合わせ、環境の整備を都度職員で話し合い、対応して居る所が素晴らしい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> イ <input checked="" type="checkbox"/> ウ <input checked="" type="checkbox"/> エ <input checked="" type="checkbox"/> オ <input checked="" type="checkbox"/> カ <input checked="" type="checkbox"/> キ
8	<p>⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
	<p>判断した理由・特記事項等</p> <p>幼児部会年間計画表を作成し、毎月年齢別に年間目標と期毎のねらいを定める一方、縦割り保育の伝統に磨きをかけて、目標達成に努めている。5歳児は就学にあたり小学校との交流と児童保育要録での引継ぎを行っている。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> イ <input checked="" type="checkbox"/> ウ <input checked="" type="checkbox"/> エ
9	<p>⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連付けている。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> オ 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> カ 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> キ 職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> ク 保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
	<p>判断した理由・特記事項等</p> <p>個別に指導計画表を作成し、日々の行動や発言内容を毎日記録に留め、成長過程の把握に努めている。園内に特別支援部会を設け、情報の共有と適切な保育の方向づけを行っている。期末には反省と成果を振り返り次年度に反映している。市の巡回訪問を利用し相談や助言を受けている。縦割り保育の中で友達と交わる事により、支援が必要な子に思いやりの心を育てていると共に、一人ひとり異なっていていいんだという理解を浸透させており、担当職員を中心に全職員の努力で実現させている。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> イ <input checked="" type="checkbox"/> ウ <input checked="" type="checkbox"/> エ <input checked="" type="checkbox"/> オ <input checked="" type="checkbox"/> カ <input checked="" type="checkbox"/> キ <input checked="" type="checkbox"/> ク
10	<p>⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごすよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> オ 保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> カ 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> キ 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
	<p>判断した理由・特記事項等</p> <p>7:00~19:00の長時間保育を実施し、天気には園庭で保育士等と元気に走り回り、部屋では異年齢で好きな遊びをしゆったりと迎えを待っている。各ホームのボードには年齢別のマグネット式の名前を迎えの順に取り外す事で確認している。18:00から延長保育に入り、名前を呼ばれた子ども達は並んで1階へ移動し補食程度のおやつとお茶を提供している。各クラスの担任が職員連絡帳に保護者への特記事項を記入し、押印して園長の確認印をもらう。このファイルと乳児・幼児の迎えの時間を記した別ファイルを揃えて、次の保育士に口頭でも伝え引継ぎを適切に行っている。保護者とは育ちの速さなど伝え合い、一日の様子を甘えながら話している親子の姿があちこちで見られた。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> イ <input checked="" type="checkbox"/> ウ <input checked="" type="checkbox"/> エ <input checked="" type="checkbox"/> オ <input checked="" type="checkbox"/> カ <input checked="" type="checkbox"/> キ

保育所版 自己評価シート
【内容評価基準】

11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	全体的な計画の中に小学校との連携や就学に向けた取り組みを記載している。小学校と連絡会議を持ち行事交流、情報交換を行っているが、コロナ禍で5歳児と小学生の交流は映像と自然の物を使ったゲームを送ってもらう事になった。小学校の校長が来られ学校での生活を話され、保護者には手紙で就学に向けた情報を共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子ども生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
A-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	看護師が常駐しており、保健業務年間計画に基づいて健康管理マニュアルを作成して子供たちの健康管理を行っている。登園時に子どもの様子を把握し、現在コロナ禍のため毎朝検温している。保護者から聞いた体調の様子や変わったことがあればクラスの連絡ファイルに記入して看護師とも情報を共有している。体調不良、異変時は園長、看護師に報告して保護者に連絡を行い、看護師が受診に付き添う場合もある。受診結果は保護者に報告し保育士とも情報を共有している。保健だより、園だよりを毎月保護者に配布して健康に関する取り組みや、感染症の状況等の情報を提供している。2歳児までは睡眠時SIDS等のチェックを行っている。園医の小児科医の医師から予防接種等についての学習会が年2回あり参加している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	健診結果が保健に関する計画に反映されるよう望みたい。歯科健診後は保健だよりで虫歯予防の注意点など伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとにエビペン対応、アナフィラキシー対応マニュアルを備えて園内で職員の研修を行い全職員が把握している。全園児に食物アレルギーの有無を確認して、医師の診断書をもとに保育士、栄養士、看護師、保護者と面談している。除去食対象児の一覧表を作成し職員室に掲示して職員に周知する取組を行っているが誤食の防止に努めてもらいたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	食習慣を身につけるための食育計画を作成し、日々の保育実践に取り組んでいる。遊びと食事のスペースに分け、行事にはテーブルの位置を変えたり雰囲気づくりをしている。未満児は返しの付いたユニバーサルプレート食器を、幼児にはコロナ禍の中接触を避けるためワンプレート食器を使用するなど配慮している。配膳は担任が行い献立に合わせて個々の食事を調整し、「全部食べられた」という達成感を大切にしている。自園で子ども達が育てた野菜を、給食メニューに採り入れたり、いも堀りやトウモロコシの皮むきなどに参加し、手作りおやつ(芋団子)にして食に関心が広がる取組を行っている。献立表(もりもり便り)や給食だよりの配布を通じて「朝食の大切さ」の啓発や乳児に関しては発達に合わせた食べ物の形状や家庭での様子を聴き保護者と連携し共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	毎月の給食会議で各クラスの喫食状況や子どもからのリクエストメニュー、味付け(濃い・うすい)など意見を聴き反映している。苦手なものを少しは食べてみようと呼掛けし、形状を変えたり工夫し、今年は「世界の味めぐり」をテーマに、毎月各国の代表的な料理の説明を「もりもりだより」や給食室の壁面に掲示し保護者にも好評を得ている。幼児の各部屋には炊飯器を置きごはんの炊ける匂いや昆布・かつお節・煮干しを出汁に使い、あごや歯を使っても習慣「カミカミメニュー」も採り入れ食べる意欲につなげている。給食は園長・主任が基本に行い、日常管理マニュアル表に基づいて日々安心・安全な食事を提供出来るよう全職員が周知徹底している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

保育所版 自己評価シート 【内容評価基準】

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	日々の連絡帳や送迎時のコミュニケーション機会を活用し情報共有している。今年は保育参加やクラス懇談が中止となり希望者と個別懇談や面談をしている。コミュニケーションが苦手な保護者には、保育士から意識しての声掛けを望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
	コロナ禍により、年度初めよりクラス懇談会や個別懇談会が中止となり、保護者と子ども達の状態、成長を共有する機会が減っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
	個別懇談会を再開し、保護者との連携を深めている途中である。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。
	お便り帳のフリーページを上手に利用し、相談している保護者もあるが、活用している保護者は少ない。周知を図って連携を深めて欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	虐待対応マニュアルがあり、職員は研修等で内容の周知に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
	今年度は虐待の恐れのある子どもはいないが、登園時に時間・様子・付添い者を毎日観察し職員間で情報の共有を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
	今後も注意深い観察を続けると共に子どもの内面まで入った、虐待の早期発見と保護者への悩み相談の受付と支援を望みたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り (保育士等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り (自己評価) を行い保育実践の改善や専門性の向上に努めている	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り自己評価を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組み過程に配慮している。
	保育内容検討会にて保育の計画を作成し、職場、グループ単位で毎月検討討議を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
	自己評価申告書を通して、職員の保育技能のレベルの平準化を進めて欲しい。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
	保育士間でも切磋琢磨し、優れているところは伸ばしサービスの質向上を望みたい。		<input type="checkbox"/>	オ 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input type="checkbox"/>	カ 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。